

京都市伏見水垂収蔵庫

- 展示案内 -

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

はじめに 2008年6月にオープンした伏見水垂収蔵庫には、京都市内の遺跡から出土した土器や瓦などの、特に重要な遺物を収蔵しています。1階の展示収蔵室では、縄など各時代の大型遺物を棚に収蔵したままの状態で見ることができます。また、展示ガイダンス室や図書室を併設し、歴史教育の場としても使用することができます。

展示ガイダンス室 この部屋では、近辺の遺跡から出土した遺物および、これに関連する写真パネルなどを展示しています。ここで紹介している遺跡には、水垂遺跡(古墳時代)・長岡京跡(奈良時代・長岡京期)・淀城跡(江戸時代)があります。

水垂遺跡では、古墳時代の村が見つかりました。竪穴住居や墓、水田や畑がまとまって見つかり、当時の村の様子が明らかとなっています。出土した遺物には、当時使用していた土器類の他に、大量の木製品が水路などから見つっています。

長岡京跡でも、数多くの調査を実施しています。道路や建物群、井戸などが見つっています。出土遺物も多彩で、土器類をはじめとして木簡や漆紙文書などもあります。また、長岡京期の川跡からは、大量の祭祀関係の遺物が出土しています。なかでも人面墨書土



伏見水垂収蔵庫の外観



展示収蔵室の大型遺物

器が最も多く、個々様々な顔が描かれています。これは、都にわざわざ入り込まないように、都に住む多くの人々がこの場所に集まって祭りを行なったことの証で、大規模な祭祀を都の周辺で行なっ

たことがうかがえます。

淀城跡の調査は数箇所で行なっていますが、江戸時代の絵図にも描かれている米蔵跡などが見つっています。その礎石を据えるための基礎工事跡も見つかりました。



展示ガイダンス室



鹿苑寺（金閣寺）出土の修羅



安朱遺跡で検出された木炭木桐墓（切り取り）



水垂遺跡の水田で見つかった足跡（はぎ取り）

展示ガイダンス室には、昭和52年（1977）に見つかった旭山古墳群（山科区上花山旭山町）の全体復元模型、昭和54年（1979）に見つかった飛鳥時代の北野廃寺瓦窯跡（北区北野下白梅町）の復元模型、平成6年（1994）に見つかった平安宮内裏内郭回廊跡（上京区下立売通千本東入田中町）の雨落溝と回廊基壇遺構の型取り模型を展示しています。

1階収蔵室 先に紹介した大型遺物の収蔵展示のほかに、これまでに発見した貴重な遺構の模型などを見学できる状態で収蔵しています。平成元年（1989）に鹿苑寺池跡（金閣寺・北区金閣寺町）か

ら出土し、京都市指定美術工芸品（考古資料）となっている室町時代の修羅2基、平成2年から3年（1990～1991）にかけて見つかった水垂遺跡の古墳時代水田の足跡

はぎ取りパネル、平成5年（1993）に安朱遺跡（山科区安朱中小路町ほか）から見つかった平安時代前期の木炭木桐墓を切り取った実物を展示しています。（長宗 繁一）

<京都市伏見水垂収蔵庫>

所在地：京都市伏見区淀水垂町733-1

アクセス：京阪「淀」駅から徒歩約15分

<お問い合わせ>

京都市文化財保護課
電話：075-761-7799
または、
（財）京都市埋蔵文化財研究所
電話：075-415-0521
までご連絡下さい。

見学には事前の「申し込み」が必要です。

*見学は、平日の10時から16時までです。
土・日・祝日・年末年始・その他作業日は、休みとなります。
ただし、団体等の見学については、調整させていただきます。

